

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

 TEL 098-868-6895  
 FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

**不正・不祥事を起こす経営者の誤った思想 丹羽宇一郎（伊藤忠商事会長）**

1. 美しい経営理念を掲げながら、不祥事を起こす企業はあちこちにある。原因が組織にあるのか、個人にあるのかは様々だろうが、なぜ素晴らしい理念とは懸け離れた事態が起きてしまうのか。そこで思い至ったのが孟子の教えだ。孟子は孔子の弟子で、今から 2300 年から 2400 年前に活躍した儒家である。彼は「世間に流布している誤った思想」として次の 4 つを挙げた。
2. まず「諛辞」。偏った議論を指す。物事を決めつけ、「彼の考えは右（左）寄りだ」などとレッテルを張ってしまうことだ。次は「淫辞」。欲の赴くままにでたための議論をすること。3 つ目は「邪辞」。胸に一物を持ってよこしまな議論をすること。そして「遁辞」。責任回避の逃げ口上のことを言う。これらの誤った思想は今の日本でも広がっているように見えてならない。問題を起こした経営者は記者会見で、「自分は知らなかった」と遁辞を展開し、挙げ句の果ては「消費者は安いものばかり求める」と淫辞を述べ立てる。
3. 氾濫する情報の中で、自分でものを考える習慣が薄れている。自分にとって都合のいい屁理屈に我も我もと飛びついて、それを正当化していく。孟子の時代は思想界だけの話で済んでいたが、今は社会全体がこうした風潮に染まっている可能性がある。人間の判断力、思考力が低下しているのだ。これは情報革命がもたらした負の部分だ。  
(参考:「日経ビジネス」2007 年 7 月 23 日号)

## 経営者のための理念・哲学

**母の背中から学ぶ**
**小嶋淳司（がんこフードサービス会長）**

1. 創業間もない昭和 40 年代前半のある年、異常気象で名産地ののりが大凶作となり、のりの価格が高騰するという事態が発生した。あまりの価格高騰で、のりが入手できず、「お宅ののりを少しでもいい、安く回してくれないか」と、ある店の主人が私のところへきた。このとき提示された金額は通常価格の 4~5 倍。手持ちののりを全部売ったとして、3 年分の利益が出る計算だった。
2. しかし、一晚悩みに悩んだ末、売らないことに決めた。「商いとは、お客様にどこよりもいいものを安く提供すること。いいのりを横流しして、悪いのりを使うなんて、絶対やっちゃいかん」と思ったからだ。そう決断できたのも、父を早く亡くし、額に汗して家業の雑貨屋を切り盛りする母の背中を見て育ったせいかもしれない。母はいつも正直な商売をしていたと、このとき思い出したからだ。

(参考:「日経ベンチャー」: 2007 年 9 月号)

## 街の活性化策

**富山市のコンパクトなまちづくり**

1. まちづくりのトップランナーと評価されているのが、富山市や金沢市である。いずれも国がまちづくりの方針を打ち出す前から、将来を見据えて独自の施策を積み上げてきた。富山市はもともと平坦な地形で、クルマ依存や持ち家志向の高い地域であることから、市街地が拡散した。その結果、県庁所在他のなかで最も人口密度の低い都市になっていた。しかし、人口減少期に入り、高齢化も急速に進行。行財政の効率化も求められる時代となり、富山市は「郊外への拡散型まちづくりは限界にきた」と、独自のまちづくりに転換した。
2. それが、公共交通の利便性を向上させた「串と団子」のコンパクトなまちづくりである。ポイントとなるのは、路面電車などの鉄路。駅周辺の徒歩圏内で生活できるようにし、そうした団子を公共交通が串のように結ぶ発想だ。まちの将来のビジョンがきわめて明確なのである。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2007 年 7 月 7 日号)

## 古典に学ぶ

**満を引く**

 「満を引いて度あたに中れば、発して空前無し。人事宜しく射の如く然るべし」

(訳) 弓を引くとき、十分に引きしぼり、的に当てれば無駄矢はない。人間の仕事も同じように準備し、心を引き締めて行動すれば失敗はない。

(参考:佐藤一斎「言志四録」: PHP 文庫)